

部門賞

建築物・工作物部門

三滝の家



緑化部門

森の工房AMA



街並み部門

アーバンビューグランドタワー



サイン・アート部門

平和の門－広島－



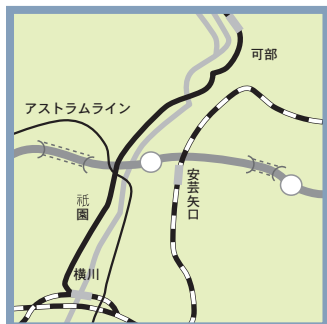
まちづくり活動部門

市民による森づくりで身近な環境整備



まちづくり活動部門

日本最初の国産バス復元と活用



夜景づくり部門

NTTクレド基町ビル
～ウインターイルミネーション～



水の都ひろしま部門

京橋川「水辺のオープンカフェ」



水の都ひろしま部門

水面上映会（川が映画館になる）



三滝の家（建築物・工作物部門）



所在地 / 西区三滝本町一丁目4番20号 施主 / 西川史江 設計者 / (株)古本建築設計 古本竜一 施工者 / 日成建設(株) 造園 / (株)ランテック 概要 / 専用住宅 鉄筋コンクリート造 地上2階地下1階建 建築面積 : 271.70㎡ 延床面積 : 476.46㎡ 完成時期 / 平成16年6月 選考理由 / 斜面敷地であるが、その起伏の変化に素直に対応しており、鉄筋コンクリートでありながら樹木とうまく調和をとり和風の雰囲気仕上げています。デザインがシンプルで美しく、打放しコンクリートも威圧的でないなど、周囲の環境に配慮して建設した結果、周辺に柔らかく溶け込んでいる点が評価された。

あなたが選ぶ景観賞 - それがひろしま街づくりデザイン賞です。

ひろしまの街は山、川、海の豊かな自然に囲まれ美しい街をつくる条件にめぐまれた環境にあります。広島市では、魅力ある街づくりを進めるために、平成6年度（1994年度）から「ひろしま街づくりデザイン賞」を実施しています。これは、市民の皆さんから、良好な景観の形成に貢献している建物や看板、活動などを募集し、その中から優れたものについて表彰する制度です。平成12年度（2000年度）までは毎年度実施していましたが、平成13年度（2001年度）から、募集から選考・表彰までを2カ年度にわたって実施しています。また、平成13年度（2001年度）の募集（第8回）から、特別表彰「水都ひろしま部門（第9回からは「水の都ひろしま部門」に名称変更）」を追加したほか、部門賞のほかに「奨励賞」を設けるなど、広島らしい魅力を創造している物件や活動を幅広く表彰できるようになりました。さらに、第10回の今回からは「夜景づくり部門」を追加し、全7部門で募集を行いました。

賞の種類

次の7つの部門賞があります。総合的にみて特に優れたものは大賞として、また、部門賞の選外になったものについても広島らしい良好な景観の形成に貢献すると認められるものは奨励賞として表彰します。

部門	対象	要件
建築物・工作物	街並みに調和し、優れたデザインのもの 例：集合住宅、戸建住宅、商業ビル、ホテル、改修により魅力を増した店舗など	おおむね3年以内に完成、改築、改装したもの
緑化	通りに配慮し、街に潤いを与えているもの 例：集合住宅や商業ビルなどの緑化、戸建住宅や店舗のガーデニングなど	年数条件なし
街並み	魅力ある街並みをつくり出しているもの 例：遊歩道、住宅団地、商店街、オープンスペースなど	おおむね3年以内に完成、改装したもの
サイン・アート	街角や建物などのアクセントになるもの 例：街角の彫刻、塀や仮囲いに描かれた絵、広告看板、店舗の日よけ、ラッピングされた公共交通機構など	おおむね3年以内に完成、改装したもの
まちづくり活動	町内会や地域住民など複数の人々がかかわって行われている活動 例：地域の魅力を高める活動、緑化推進活動、イベント開催など	おおむね5年以上継続している活動
夜景づくり	灯りにより建物や通りを演出し、美しい夜景をつくり出しているもの 例：ライトアップされた建物や彫刻、樹木、住宅団地、商店街、又はその活動など	年数条件なし
水の都ひろしま	本市の資源である川や海に配慮し、魅力ある水辺をつくり出しているもの 例：水辺に顔を向けた建物や、水辺を舞台とした活動など	年数条件なし 但し、建物はおおむね3年以内に完成、改装したもの

応募の対象

広島市内で良好な景観の形成に貢献しているもの。
ただし、建築関係法令などに適合していない物件、公共施設、これまでにひろしま街づくりデザイン賞を受賞した物件や活動で、同部門への応募は除きます。

募集

2年に一度、年度当初ごろから募集します。区役所・区民文化センター・公民館等の市関連施設や大学、専門学校などの建築関係学科へのポスター掲示、リーフレット兼応募用紙の配布。市の広報紙、ホームページでの告知。市政記者クラブへの情報提供等を行っています。

応募方法

- ・自薦・他薦は問いません。一人何点でも応募できます。
- ・応募用紙に必要事項を記入し、写真貼付けのうえ、ボジ又はネガフィルムを同封し、郵送してください。なお、これらの写真は返却しませんので、ご了承ください。
- ・応募物件等が受賞した場合は、応募写真を広島市発行の刊行物や広報誌などに使用させていただきます。
- ・Eメールでも応募ができます。

審査・発表

ひろしま街づくりデザイン賞選考委員会による写真選考、現地視察、最終選考を経て選考（委員による得点投票及び協議により決定）します。審査の結果は募集の翌年度（7月頃）に発表し、表彰式を行います。受賞物件の施主、活動団体には、表彰状と銘板を、設計者、施行者等には表彰状を贈呈します。

参加賞

応募いただいた方全員に、記念品と受賞物件等をまとめたパンフレットをさしあげます。

その他

これまでの受賞物件をパンフレットにまとめ、都市デザイン担当の窓口で配布しています。また、デザイン・建築関係のイベントでPR用パネル展示を行っています。

ひろしま街づくりデザイン賞について



広島市長
秋葉 忠利

広島は、南北に流れる幾筋もの川、緑豊かな平和大通り、瀬戸内海の多島美、青垣の山々など、かけがえのない都市景観を有しています。

「ひろしま街づくりデザイン賞」は、魅力的な広島の景観をつくり出していくため、街並みと調和した建築物や街に潤いを与えている緑、地域の魅力を高める活動などを、自薦、他薦により募集し、表彰する制度です。

第10回目を迎える今回は、灯りにより建物や通りを演出し、美しい夜景をつくり出している建物や彫刻などを対象にした「夜景づくり部門」を新設しました。その結果、多くの応募があり、これまで気付かなかった広島の新鮮な顔を発見することができました。

本賞を通じて、都市景観に対する市民の皆さんの関心が広がり、本市における良好な景観形成に向けた気運が一層高まることを期待しています。

応募期間

平成17年(2005年)6月15日(水)～8月31日(水)
(一部平成17年(2005年)6月15日(水)～12月25日(日))

応募状況

応募件数

建築物・工作物部門	97件
緑化部門	24件
街並み部門	14件
サイン・アート部門	21件
まちづくり活動部門	5件
夜景づくり部門	27件
水の都ひろしま部門	12件
合計	200件

選考過程

- (1)写真選考 平成17年(2005年)10月17日・21日
- (2)現地視察 平成17年(2005年)10月26日・11月4日
- (3)現地視察 平成17年(2005年)12月21日・27日
- (4)最終選考 平成18年(2006年) 3月 2日

表彰式

平成18年(2006年)7月20日(木)



選考委員会委員長
森保 洋之

選考総評

「ひろしま街づくりデザイン賞」が創設されて今回で10回目を迎えました。表彰物件数も今回分を含めると86件を数えるまでとなり、広島市のいろいろな所で、良好な景観の形成に貢献する建築物や活動が広がっているように感じられます。

今回は、新しく「夜景づくり部門」を創設し、全7部門で募集を行いました。そうした中、今回は全体で200件というこれまでで最多のご応募をいただき、市民の皆さんの街づくりデザインに対する関心の大きさを知らされました。

新設した「夜景づくり部門」については、初めての募集にもかかわらず、27件もの応募があり、建築物自体のライトアップ、灯りをテーマとしたイベント、住宅団地でのクリスマスイルミネーションなど、様々な物件の応募がありました。

今回は、残念ながら大賞に該当する物件はありませんでしたが全7部門で9件の部門賞と4件の奨励賞で合わせて全13件が選考され、結果として過去最多の受賞数となりました。「サイン・アート部門」を受賞した「平和の門」は、オブジェとしての存在感、品格、格調の高さや夜間の上品なライトアップの美しさだけでなく、その中に込められたメッセージ性も含めて、国際・平和・文化をキーワードとするヒロシマを象徴する作品であるという点で、部門賞の中でも特に高く評価されたことは特記しておきたいことです。

今後は、こうした優れた成果が他の様々な取組への刺激や励みとなり、より一層個性と魅力ある街づくりへと発展していく契機となることを期待しています。

選考委員

委員長	森保 洋之	広島工業大学環境学部教授
委員	大森 豊裕	近畿大学工学部助教授
	谷川 圭子	ヒロシマフラワーカレッジ主宰
	友川千寿美	シネマ・キャラバンV.A.Gプランナー
	中川 圭子	市民公募
	中越 信和	広島大学大学院国際協力研究科教授
	中村 隆行	ひろしまNPOセンター事務局長
	原田 佳子	広島女学院大学生生活科学部教授
	秀浦 純治	株式会社秀浦ディスプレイ
	平田 圭子	広島工業大学環境学部助教授
	正本 大	市民公募
	三島 久範	広島県建築士会広島支部 まちづくり委員会 委員長
	吉田 幸弘	広島市立大学芸術学部助教授

